ノ13
2946
213

213
特へ13
2946
213

萬屏萬福

蛾

臨八十八峯源川秋和先生

京四

○小引

あるがあるを赤縣衛門の筆とするこの草氏のの名、試りて此眉の名とする四方福長者の一世の栄花の起城あるせばなる言葉辞も愁歎の詞をもちひざるべてこころのこころにくめでこころに夏のこと載記せることるゆるふ自おしこあつて咲ひを催をこゝでおもうる希い初恋の詭ぐめとしてのびみに天の山くとりふ笑ひるくとまるを

山東京傳試筆

江戸馬喰町二丁目 永壽堂西村与八壽梓

壽香馥
郁金炉
内福
燭煌煌
寄殿前、
石

東方朔句

年神は
松の山
小龍の
宝晋斉

保人蓋乗乾坤異
当石盃年月月長

浦島外之紀

月出
見て
一万枚と
御代の玄　室井　其角

千歳表の門 熊谷表
素七ロ一の善通
美 四面
日の春 ひとしほふ春の
あけぼの 晋子
万福長者一子
莞示太郎
いんきょ 後行六十八万両
大黒 恵比寿
○黄金財福禄屋寿平
扇よりさき角
夢や
ひるふあり。
○寿平妻於福

大黒天
大吉日 ふろき 左卯
山あちん作

福神塚

福禄寿三段目笑場
ゆめさがし
大福ものさや

福
寿
長久

不老門
金千両
金千両
金千両
長生殿
不老門

山東京傳戯作
歌川豊廣画
讀者
京傳